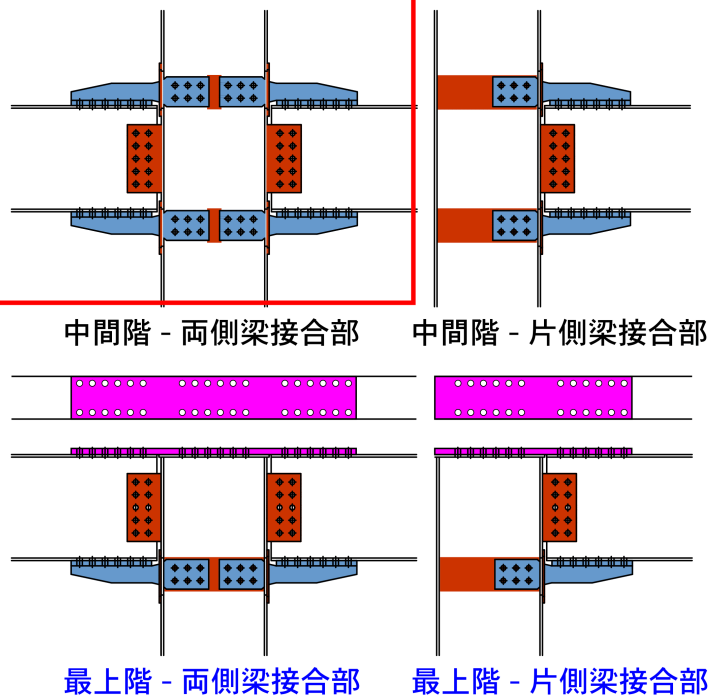


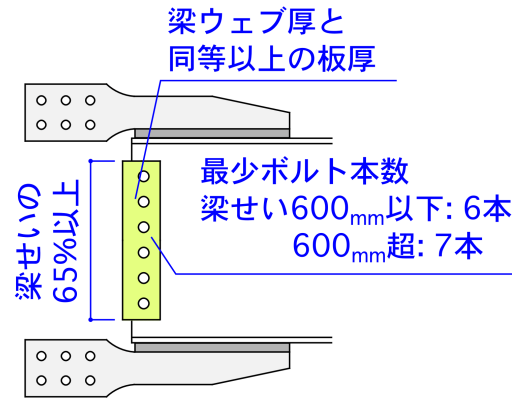
●建物の適用部分



Sタイプで新規追加

最上階部分に制約はありますが、ブレースの取り付けられない全ての接合部分に対応しました。  
※相馬では最上階の接合部ディテールはありません

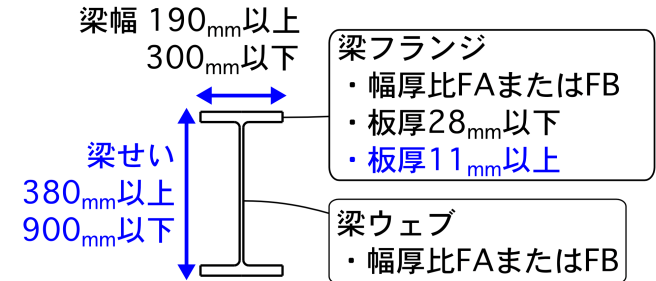
●シャーププレート



Sタイプで形状を見直し

シャーププレートの形状を見直しました  
多くの場合で、ボルト一列配置、  
板厚16mm以下となります

●梁



Sタイプで範囲拡大

基本は600せいですが、  
900せいまで対応可能となりました。

●使用材料

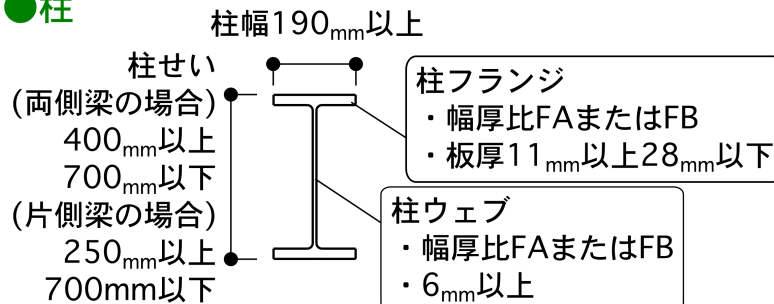
- ・梁・柱・シャーププレート  
→400N級炭素鋼または490N級炭素鋼
- ・接合金物→(SN材)建築構造用圧延鋼材
- ・ボルト→高力ボルト(HTB)  
または超高力ボルト(SHTB)

Sタイプで修正

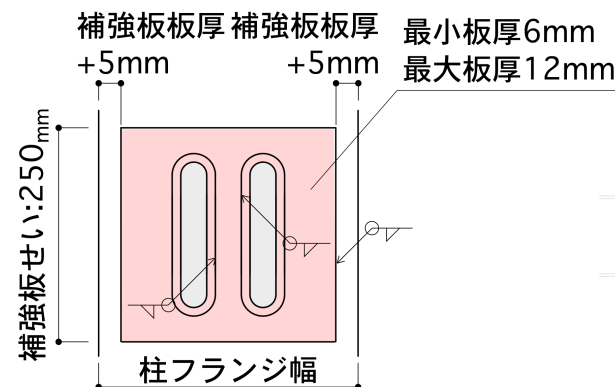
金物の品質向上を目的として、  
接合金物の材料はSN材に限定しました。

海老名と同じ部分

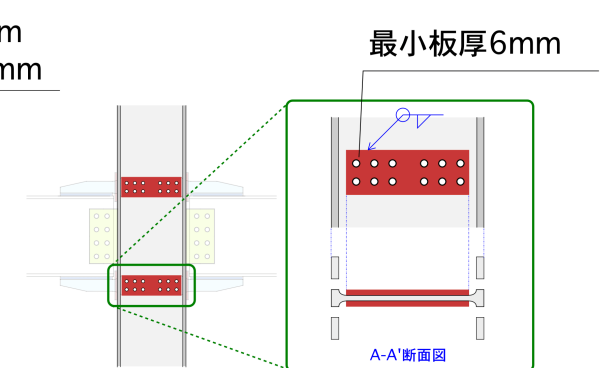
●柱



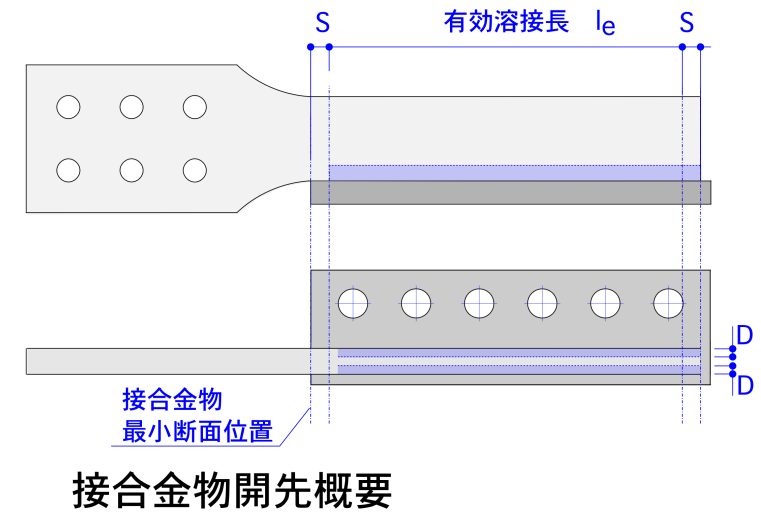
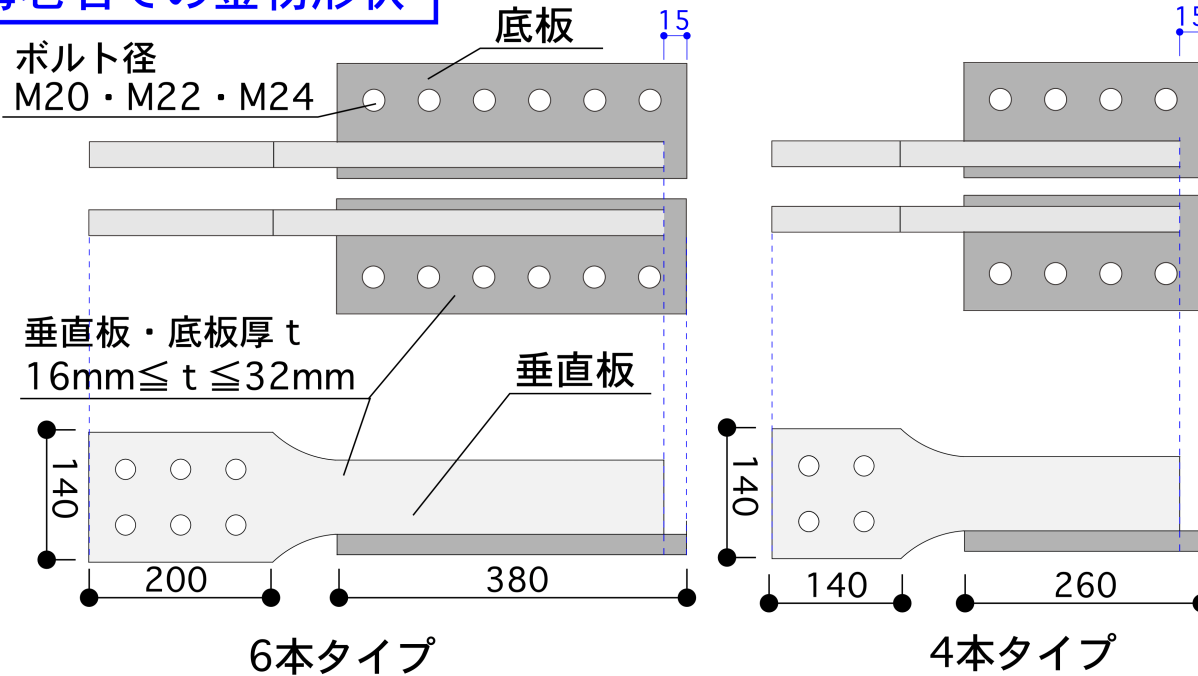
●柱フランジ補強板の適用範囲



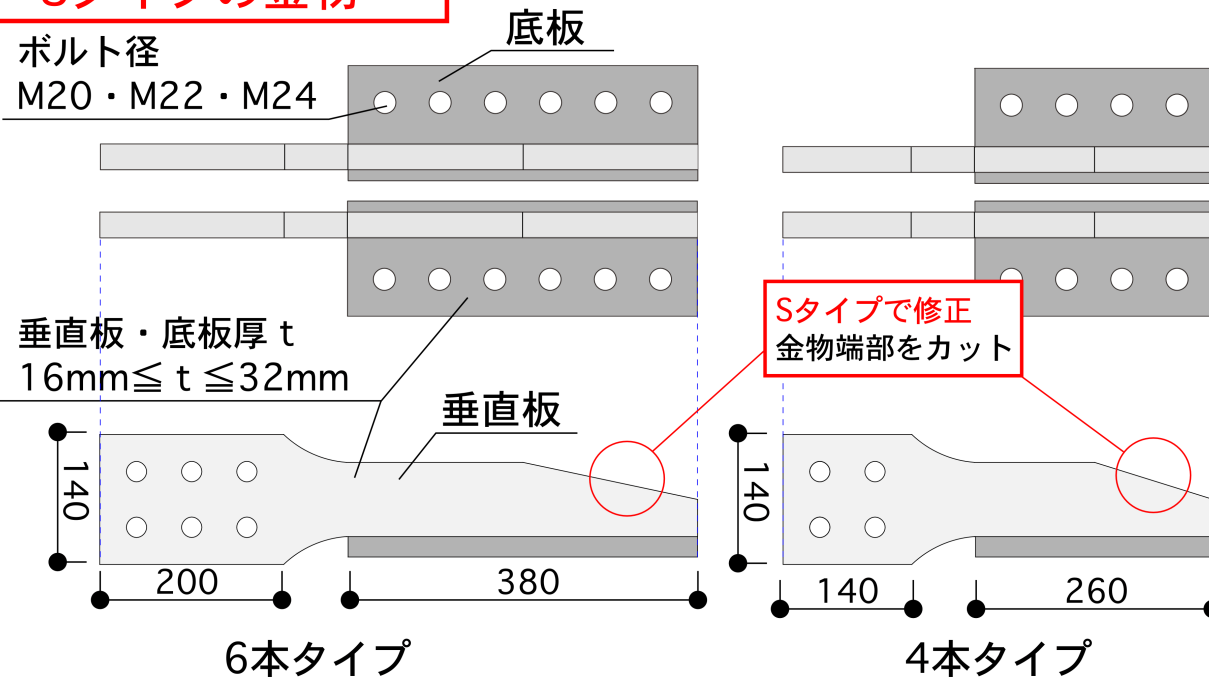
●柱ウェブ補強板の適用範囲



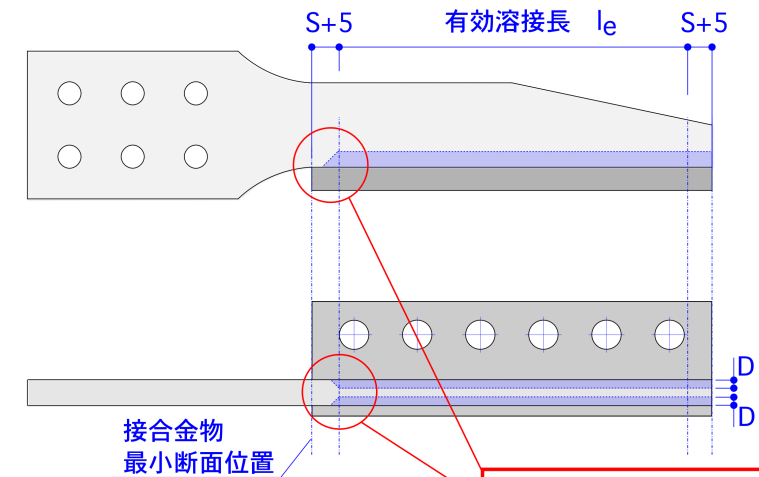
## 海老名での金物形状



## Sタイプの金物



底板と垂直板の間の  
孔寸法・精度は共通



接合金物開先概要